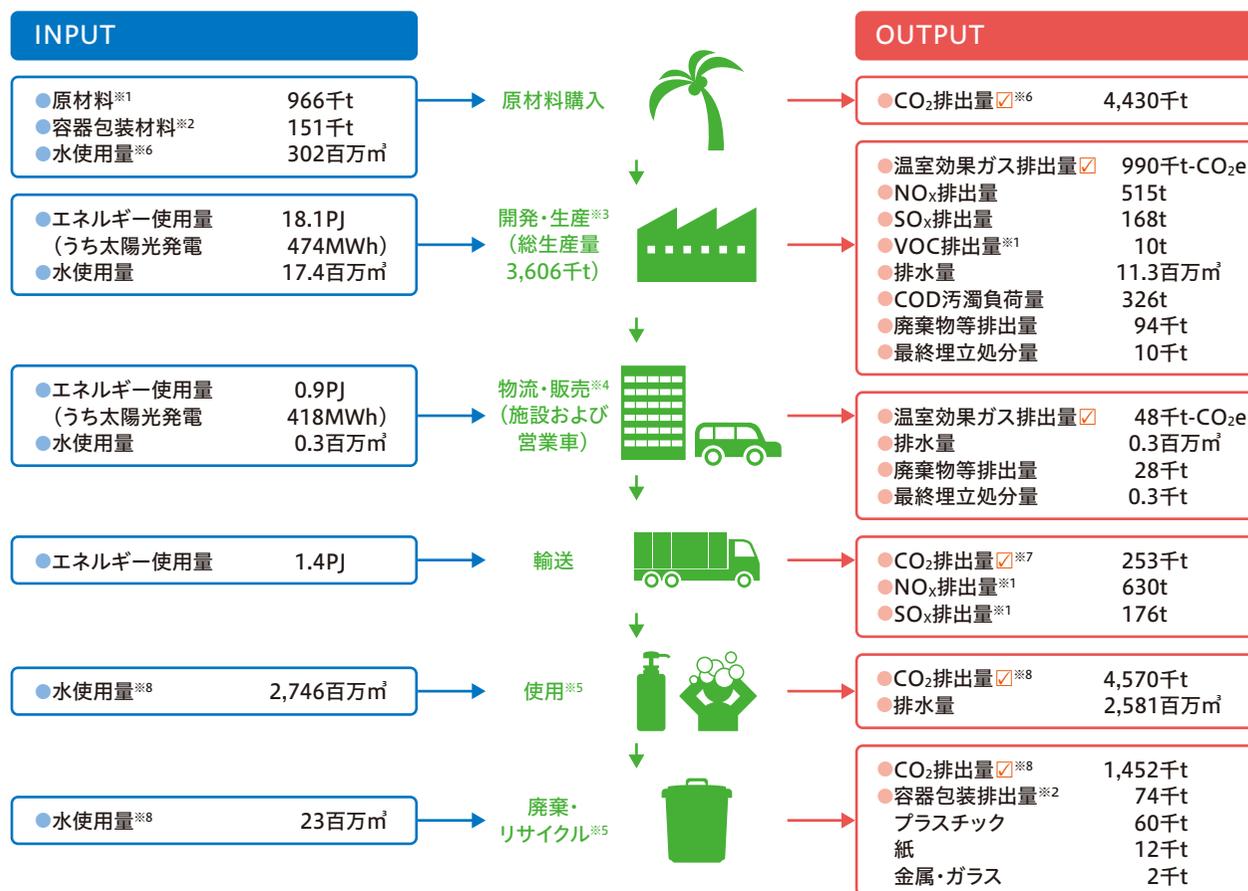


### 花王のアプローチ

花王では製品のライフサイクル全体を通して資源をムダなく使用するとともに、さらなる省資源・省エネルギーを実現する技術を追求しています。

### 2018年の事業活動と環境負荷



#### 集計範囲

- ※1 日本花王グループ
- ※2 花王(株)
- ※3 全生産拠点
- ※4 全非生産拠点(研修所、寮等を含む)
- ※5 消費者向け製品
- ※6 消費者向け製品および産業向け製品を対象として、製品1個当たりの原材料製造段階(自社グループの製造工程除く)のCO<sub>2</sub>排出量および水使用量に当該年度の販売数量を乗じて算出しています。
- ※7 集計対象は消費者向け製品および産業向け製品。日本は省エネ法に基づいて算定しています。海外は日本の実績に基づき算定した製品1個当たりの輸送時CO<sub>2</sub>排出量と各国での販売数量と各国内での推計輸送距離を乗じて算定しています。
- ※8 消費者向け製品を対象として、製品1個当たりの使用時CO<sub>2</sub>排出量および水使用量もしくは製品1個当たりの廃棄時CO<sub>2</sub>排出量および水使用量に当該年度の販売数量を乗じて算定しています。

# 製品ライフサイクルと環境負荷

301-1,302-1,303-3(水と廃水2018),303-4(水と廃水2018),  
303-5(水と廃水2018),305-1,305-2,305-3,305-7,306-2

花王のアプローチ

## INPUT

- **原材料**  
製品を製造するために直接使用した原材料の量  
(ただし、容器包装材料、燃料などは含まない)
- **容器包装材料**  
販売された製品に使用した容器包装の量(段ボールを含む)
- **エネルギー使用量 [開発・生産]**  
生産拠点で使用したすべてのエネルギー量
- **エネルギー使用量 [物流・販売(施設および営業車)]**  
非生産拠点および自動車(営業用)で使用したエネルギー量
- **エネルギー使用量 [輸送]**  
消費者向け製品と工業用製品および原材料その他の輸送で使用したエネルギー量
- **水使用量**  
工業用水、市水、地下水、雨水の使用量

## OUTPUT

- **温室効果ガス排出量**  
拠点から排出された温室効果ガス(京都議定書で定められた7ガス)の量  
(CO<sub>2</sub>換算値・スコープ1+2)
- **CO<sub>2</sub>排出量**  
原材料の製造、エネルギーの使用と成分分解等に伴い排出した量
- **排水量**  
各拠点からの排水量と消費者向け製品の使用に伴い排出された水の量
- **COD汚濁負荷量**  
排水中のCOD汚濁負荷量
- **廃棄物等排出量、最終埋立処分量**  
各拠点において発生した廃棄物等のうち、廃棄物、再資源化物として外部に処理委託あるいは売却した量および最終埋立処分量
- **容器包装排出量**  
販売された製品に使用した容器包装の量(段ボールは含まない)
- **VOC排出量**  
生産拠点からの大気へのVOC(揮発性有機化合物)排出量
- **NO<sub>x</sub>排出量**  
各ばい煙発生施設および輸送からの排出量
- **SO<sub>x</sub>排出量**  
各ばい煙発生施設および輸送からの排出量